



新年のご挨拶



揖斐川町長

岡部 栄一

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。また、日頃から、町政の運営に対し、温かいご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

私は、昨年11月の町長選挙において、町民の皆様をはじめ各方面の方々からの力強いご支援と温かいご厚情を賜り初当選という栄に浴し、町長という重責を担わせていただくことになりました。改めて、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

皆様から寄せられました信頼と期待に、誠実にお応えするため、「新しい時代の新しい町づくり」に向け全力で取り組んでまいります。

私は町長選挙のなかで、「待ったなし揖斐川町」、「変えなくちや揖斐川町」と訴えてきましたが、こうした町に対する危機感が町民の皆様の共感を得、支持いただいたものと考えております。

合併当時2万7千人近くあった人口が今では2万人を切るのが目前という非常に厳しい状況にあるなかで、揖斐川町を何とか変えてほしい、これが町民の皆様の切なる願いであると考えています。

そのためにも、まずは「町が変わってきた」、「以前より良くなった」と、町民の皆様

様にそう感じていただけるような町政を行っていききたいと思っています。

町長が交代したこと、これを良い切っ掛けにして、町を変えていこうという気概を持って町政に取り組んでまいります。

アメリカのオバマ大統領がCHANGE, YES, WE CAN! (変えよう、私たちならできる)と国民に訴えてアメリカを変えていきました。私もこの言葉の通り、町民の皆様と力を合わせて、揖斐川町を変えていきたいと思っています。

そのためにも、私は、「声なき声を聞ける声に」をモットーとして、できるだけ多くの町民の皆様のお話を伺うために、折に触れ、対話する機会を設け、ご意見を伺いながら皆様とともに町政を推進してまいります。

今年は揖斐川町にとって将来の進むべき方向性を決めていく大変重要な年であると考えております。住んで良かった、暮らして良かったと、次世代へ自信と誇りを持って引き継ぐためにも、これまで以上の町政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、輝かしい新年が町民の皆様にとって、夢と希望に満ちた素晴らしい一年となることをご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。



揖斐川町議会議員

村瀬 三郎

新年明けましておめでとうございます。皆様には、令和3年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また、日頃から、町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症により、世界中が大きな影響を受けた一年となりました。揖斐川町においても、感染予防のため、日常生活や学校、経済活動などのさまざまな行動が制限されました。会合やイベントなどは、中止または縮小を余儀なくされ、その影響は地域の伝統行事の存続にまで及びました。

このような中、町は、感染防止対策として、皆様にマスクや体温計などの予防資材を配布する一方、いびがわ飲食店応援食事券やプレミアム付商品券発行などの経済対策、新生児特別給付金事業や高齢者生活支援事業などの生活支援対策等を迅速に打ち出し、議会

もこれらの施策に協力し、事業を進めてまいりました。事業による一定の効果は得られましたが、感

染症は全国的にも拡大傾向にあります。また、インフルエンザの流行も危惧されていますので、いわゆる三密回避などの「新しい生活様式」により、なお一層感染防止に努めていただきたいと思います。

明るい話題が少ない年でしたが、子育て世代から要望が多かった児童公園「ゆめパークTO・LO・MO」や揖斐川図書館の完成など、コロナ禍においても、町の財産となる事業は着実に進められました。11月からは新町長が就任され、今年は新しいまちづくりの方向性が示されることと思います。議会も、より良いまちづくりを目指すという目的は同じです。町政に反映させていきたいと思

いますので、変わらぬご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束し、令和3年が夢と希望と活気ある揖斐川町となりますこと、あわせて皆様のご多幸をご祈念申し上げます。